



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月11日

上場会社名 株式会社ラウンドワン 上場取引所 東
 コード番号 4680 URL https://www.round1.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 杉野 公彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 佐々江 慎二 TEL 06-6647-6600
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 2022年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切り捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績 (2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	67,487	63.2	6,929	—	7,115	—	5,241	—
2022年3月期第2四半期	41,345	77.7	△4,674	—	△2,544	—	△2,118	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 10,027百万円 (—%) 2022年3月期第2四半期 △1,733百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	18.29	18.29
2022年3月期第2四半期	△7.67	—

(注) 当社は、2022年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	168,668	64,177	38.0	222.80
2022年3月期	157,698	54,603	34.4	189.70

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 64,020百万円 2022年3月期 54,320百万円

(注) 当社は、2022年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2023年3月期	—	12.00	—	—	—
2023年3月期 (予想)	—	—	—	4.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2022年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。そのため、年間の配当予想につきましては単純合計ができないため、表示しておりません。なお、株式分割を考慮しない場合の期末配当金は12円、年間配当金は24円であります。

3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	140,796	46.0	17,316	—	17,179	220.5	11,722	197.7	40.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は、2022年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。当連結会計年度期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	287,358,642株	2022年3月期	286,358,742株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	8,046株	2022年3月期	4,005株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	286,551,765株	2022年3月期2Q	276,282,737株

(注) 当社は、2022年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止策と経済社会活動の両立が慎重に行われ、個人消費を中心に緩やかな回復基調で推移いたしました。

他方、世界経済においては、多くの国で行動制限が緩和され回復基調で推移しているものの、国際情勢等の影響を注視する必要がある状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは日本国内において、引き続き一部店舗の「ギガクレーンゲームスタジアム」への改装を順次行いました。また、アーティストやアニメ等との期間限定コラボレーションキャンペーンや、タレントを起用したテレビコマーシャルの全国放送の実施等、業績向上に努めました。

米国においては、営業基盤を拡大すべく、新たに2022年8月にローズビル店（カリフォルニア州）、サウスヒル店（ワシントン州）を出店いたしました。また、アミューズメント機器の積極的な導入を行ったほか、昨今の経済状況を勘案し各施設にて料金の見直しを行いました。

また中華人民共和国においては、営業基盤を拡大すべく、新たに2022年7月に南京江寧金鷹店（江蘇省南京市）を出店いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高67,487百万円（前年同四半期比63.2%増）、営業利益6,929百万円（前年同四半期は営業損失4,674百万円）、経常利益7,115百万円（前年同四半期は経常損失2,544百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益5,241百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失2,118百万円）となりました。

なお、当社が運営する屋内型複合レジャー施設は、お盆期間やお正月期間等長期休暇の多い第2四半期及び第4四半期に売上高が増加する傾向があり、四半期毎で経営成績の偏りが生じます。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(日本)

引き続き一部店舗の「ギガクレーンゲームスタジアム」への改装を順次行いました。また、アーティストやアニメ等との期間限定コラボレーションキャンペーンや、タレントを起用したテレビコマーシャルの全国放送等、業績向上に努めました。なお、原材料価格等の高騰の影響を勘案し、アミューズメント以外の施設にて料金の見直しを行いました。

以上の結果、ボウリングは前年同四半期比63.2%増、アミューズメントは前年同59.1%増、カラオケは前年同168.1%増、スポッチャは前年同68.0%増となりました。

(米国)

営業基盤を拡大すべく、新たに2022年8月にローズビル店（カリフォルニア州）、サウスヒル店（ワシントン州）を出店いたしました。また、アミューズメント機器の積極的な導入を行ったほか、昨今の経済状況を勘案し各施設にて料金の見直しを行いました。

以上の結果、ボウリングは前年同四半期比64.4%増、アミューズメントは前年同53.4%増、カラオケは前年同80.9%増、スポッチャは前年同77.6%増となりました。

(その他)

その他の事業セグメントにおいては、日本・米国以外の地域に出店準備を進めております。

なお、中華人民共和国において、2022年7月に南京江寧金鷹店（江蘇省南京市）を出店いたしました。この店舗は、連結子会社である中華人民共和国現地法人、朗玩（中国）文化娛樂有限公司による出店です。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ10,969百万円増加の168,668百万円となりました。この要因は、現金及び預金が2,271百万円増加、貯蔵品が792百万円増加したこと等による流動資産の増加3,296百万円と、建物及び構築物（純額）が3,510百万円増加、アミューズメント機器（純額）が3,039百万円増加したこと等による固定資産の増加7,673百万円によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,395百万円増加の104,490百万円となりました。この要因は、リース債務が944百万円増加、契約負債が482百万円増加したこと等による流動負債の増加1,775百万円、長期借入金が3,051百万円減少、リース債務が1,967百万円増加、長期未払金が581百万円増加したこと等による固定負債の減少379百万円によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ9,574百万円増加の64,177百万円となりました。この要因は、為替換算調整勘定が4,799百万円増加、親会社株主に帰属する四半期純利益5,241百万円の計上により利益剰余金が4,286百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は38.0%（前連結会計年度末は34.4%）となりました。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきまして、2022年8月5日に公表いたしました連結業績予想を修正しております。この主な要因は、当第2四半期連結累計期間の数値を実績数値としたこと及び当第2四半期連結累計期間の実績数値に基づき下期の売上及び費用を変動したことによるものです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	46,316	48,587
売掛金	1,061	1,224
商品	364	428
貯蔵品	2,701	3,494
その他	3,859	3,865
流動資産合計	54,303	57,600
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	88,816	95,893
減価償却累計額	△48,375	△51,943
建物及び構築物(純額)	40,440	43,950
土地	5,736	5,732
リース資産	27,845	33,713
減価償却累計額	△12,684	△15,824
リース資産(純額)	15,161	17,889
使用権資産	4,362	4,136
減価償却累計額	△748	△548
使用権資産(純額)	3,613	3,587
その他	49,587	57,232
減価償却累計額	△30,363	△35,740
その他(純額)	19,224	21,492
有形固定資産合計	84,176	92,652
無形固定資産	816	839
投資その他の資産		
繰延税金資産	8,288	7,305
差入保証金	8,578	8,617
その他	1,534	1,653
投資その他の資産合計	18,401	17,576
固定資産合計	103,395	111,068
資産合計	157,698	168,668

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	243	233
短期借入金	700	700
1年内償還予定の社債	342	342
1年内返済予定の長期借入金	6,216	6,139
リース債務	8,456	9,401
未払法人税等	947	523
契約負債	2,084	2,567
その他	10,756	11,614
流動負債合計	29,747	31,522
固定負債		
社債	971	799
長期借入金	41,278	38,227
リース債務	12,556	14,523
資産除去債務	6,824	6,761
その他	11,715	12,655
固定負債合計	73,347	72,968
負債合計	103,095	104,490
純資産の部		
株主資本		
資本金	25,021	25,326
資本剰余金	25,697	26,002
利益剰余金	△126	4,159
自己株式	△2	△4
株主資本合計	50,590	55,484
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	6
繰延ヘッジ損益	0	△0
土地再評価差額金	△138	△138
為替換算調整勘定	3,867	8,667
その他の包括利益累計額合計	3,730	8,535
新株予約権	282	156
非支配株主持分	0	0
純資産合計	54,603	64,177
負債純資産合計	157,698	168,668

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	41,345	67,487
売上原価	44,262	58,430
売上総利益又は売上総損失(△)	△2,917	9,056
販売費及び一般管理費	1,756	2,126
営業利益又は営業損失(△)	△4,674	6,929
営業外収益		
受取利息及び配当金	7	3
補助金収入	2,812	209
為替差益	0	276
持分法による投資利益	—	82
その他	216	152
営業外収益合計	3,037	723
営業外費用		
支払利息	459	432
持分法による投資損失	8	—
その他	439	105
営業外費用合計	907	538
経常利益又は経常損失(△)	△2,544	7,115
特別利益		
違約金収入	907	—
新株予約権戻入益	2	84
特別利益合計	909	84
特別損失		
固定資産除却損	33	111
減損損失	—	5
特別損失合計	33	116
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,667	7,083
法人税、住民税及び事業税	45	450
法人税等調整額	405	1,391
法人税等合計	451	1,842
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,118	5,241
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,118	5,241

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,118	5,241
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	385	4,728
持分法適用会社に対する持分相当額	—	57
その他の包括利益合計	385	4,786
四半期包括利益	△1,733	10,027
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,733	10,027
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間において、新株予約権の権利行使が行われました。この結果、当第2四半期連結累計期間において、資本金が305百万円増加、資本剰余金が305百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において、資本金が25,326百万円、資本剰余金が26,002百万円となっております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	四半期連結財務 諸表計上金額 (注) 2
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	25,923	15,328	41,252	93	41,345
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	25,923	15,328	41,252	93	41,345
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△3,281	1,418	△1,863	△681	△2,544

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、米国(Round One Entertainment Inc. 及びその連結子会社2社)を除く海外現地法人の事業活動を含んでおります。
2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常損失(△)と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	四半期連結財務 諸表計上金額 (注) 2
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	42,676	24,400	67,076	410	67,487
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	42,676	24,400	67,076	410	67,487
セグメント利益又は セグメント損失(△)	3,709	4,024	7,733	△618	7,115

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、米国(Round One Entertainment Inc. 及びその連結子会社2社)を除く海外現地法人の事業活動を含んでおります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

(重要な後発事象)

(株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更)

当社は、2022年8月5日開催の取締役会の決議に基づき、2022年10月1日付で株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更を行っております。

1. 株式分割

(1) 株式分割の目的

株式分割により、当社株式の投資単位当たりの金額(最低投資金額)を引き下げるとともに、流通株式数の増加により株式の流動性を高めることで、投資家の皆様がより投資しやすい環境を整え、投資家層の拡大並びに株主数のさらなる増加を図ることを目的としております。

(2) 株式分割の概要

①分割の方法

2022年9月30日を基準日として、同日最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有する当社普通株式を、1株につき3株の割合をもって分割を行っております。

②分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	95,786,214株
今回の分割により増加する株式数	191,572,428株
株式分割後の発行済株式総数	287,358,642株
株式分割後の発行可能株式総数	749,100,000株

③分割の日程

基準日公告日	2022年9月15日
基準日	2022年9月30日
効力発生日	2022年10月1日

④1株当たり情報に及ぼす影響

1株当たり情報に及ぼす影響は、サマリー情報の「1株当たり四半期純利益」及び「1株当たり純資産」に反映しております。

2. 定款の一部変更

(1) 定款変更の理由

今回の株式分割に伴い、会社法第184条第2項の規定に基づき、2022年10月1日をもって、当社定款第6条に定める発行可能株式総数を変更しております。

(2) 定款変更の内容(下線は変更部分)

現行定款	変更後定款
第6条(発行可能株式総数) 当社の発行可能株式総数は、 <u>249,700,000株</u> とする。	第6条(発行可能株式総数) 当社の発行可能株式総数は、 <u>749,100,000株</u> とする。

(3) 定款変更の日程

効力発生日	2022年10月1日
-------	------------

3. その他

(1) 資本金の額の変更

今回の株式分割に関して、資本金の額の変更はありません。

(2) 新株予約権の行使価額の調整

今回の株式分割に伴い、当社発行の新株予約権の1株当たり行使価額を2022年10月1日以降、以下のとおり調整いたします。

	取締役会決議日	調整前行使価額	調整後行使価額
2021年新株予約権	2021年10月29日	1,394円	465円